

**【事業者向け】 児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表**

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守し、支援の目と手が行き届くようスペースと人員を考慮しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			法令で必要とされる配置数に加えて、専門職員を2名以上配置しています。イベント等では職員数を多めに配置しています。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備が適切になされているか		○		個々のお子さまが理解し行動しやすい生活空間となるように、活動や片付けの場所や方法などを日々検討し、改善しながらご意見を伺っています。今年度はハートシードの出入口に段差解消のスロープと、室内に棚を設置しました。棚がついたことで見やすくなり、片付け場所が明確になったことで、子どもたちも自分たちで準備や、お片付けをするようになってきています。今後は片付け場所が誰にでもわかるように、ネームプレートのようなものをはるなど工夫したいと思います。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間が確保できているか	○			安全管理とお子さまの安心・興味・関心の支援との兼ね合いについて様々な考えがあり、検討を重ねています。電灯や窓は飛散防止対策を行っています。新型コロナウイルスの感染予防対策として、現在は、午前・午後のそれぞれの活動終了後の1日2回清掃を行なっています。事務室のドアを採風ドアに交換し、換気をこまめにしています。また、密を避けるように留意しています。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日のミーティングや定期的な全体会議などで、職員間で情報を共有し、改善に向けて取り組んでいます。
	2	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			平成29年度よりアンケートを実施し、結果をもとに業務改善に繋げています。
	3	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			平成30年度より当ホームページにて公開しています。集計結果をお知らせコーナーに常備しておりますのでご自由にご覧ください。ご不明な点がございましたらいつでもお声かけください。また、ご利用者にはアンケートの集計結果の配布時や面談時に説明するように心掛けています。
	4	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在第三者による外部評価は行っておりません。今後実施に向けて検討していきます。
	5	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年間研修計画に基づき内部・外部研修を積極的に行っています。今年度は内部研修が主となりました。職員間で書籍や資料の共有がさかんになるような環境作りを進めています。また、まなこどもクリニックから月2回お越しいただいている医師や公認心理士とのやりとりも大変勉強になっており、今後も継続して学んでいきたいと思っています。

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			相談支援事業所の計画を基にしています。また質問用紙にてニーズや課題をご記入いただき、詳しくお話を伺ったうえで、児童発達支援計画及び放課後等デイサービス計画を作成しています。職員一同努力しているところですが、発達の見立てや保護者との共有には、さらに研鑽が必要と考えています。
	2	児童発達支援ガイドラインや放課後等デイサービスガイドラインに基づき、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画において子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載しているか	○			半年毎の個別支援計画の作成過程や活動の中で具体的な支援を実施する上で、ガイドラインに示されている要件を踏まえつつ、お子さまやご家族の様子や環境の状況に必要な支援を選択し、設定しています。支援の範囲は広く、活動を通したお子さまに対する直接的な支援のほか、間接的な環境づくりの支援(ご家族に対する支援、保育園・幼稚園・学校などとの連携、地域の体制づくりなど)も大切と考えています。職員一同努力しているところですが、発達の見立てや保護者との共有には、さらに研鑽が必要と考えています。
	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			小集団の活動がメインですが、お子さまの状況に応じて個別活動も取り入れています。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援が行われているか	○			児童発達支援計画及び放課後等デイサービス計画の具体的な支援内容を基本とし、日々の活動を行っています。
	5	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			お子さまの興味・関心が自然とわいてからだが動くようなあそびになるように、個々のお子さまの発達や特性を踏まえた上で、幅広いあそび・多様な楽しみ方ができるような活動構成を担当する職員間で考えています。
	6	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			月毎にプログラムの内容を検討し、季節感を感じられるようなあそびを取り入れています。またその時々のお子さまの興味・関心も活動に反映させています。放課後等デイサービスでは個々の活動を大切にしつつ、小集団での活動も短い時間の中で取り入れる工夫をおこなっています。また、安全策を考えイベントの開催をしたり、新しい活動の提案も行うようにしています。
	7	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			放課後等デイサービスでは子ども達が考えてプログラムを進めています。長期休みには、余裕のある時間を利用した集団活動を計画しています。
	8	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			前日に活動内容の細かな打ち合わせを事業担当毎に行い、当日は全体で支援内容や役割分担の再確認を行っています。イベント等は事前に入念に打ち合わせを行っています。
	9	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			担当した職員間で支援の振り返りを行い、記録に残して次の活動に繋げています。
	10	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			活動全体の記録とお子さま一人一人の記録を行い、支援の検証・改善に繋げるよう努めています。
	11	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			児童発達支援計画及び放課後等デイサービス計画の見直し時期に加え、お子さまの日頃の姿・家庭生活・集団生活での変化を見ながら必要に応じて行っています。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	1 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			主には児童発達支援管理責任者・担当職員・管理者などが出席しています。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関との情報共有や連絡調整を適切に行っているか	○			対象となるお子さまの関連機関とは密に連携し、安全で安心感のある支援を心がけています。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医等や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			医療的ケアが必要なお子さまについては、主治医や協力医療機関と調整会議にて十分な話し合いを行い、連絡体制を整えた上でご利用いただいています。
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有が行われているか	○			ご家族とご相談しながら連携が有益なものとなるように努めています。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供が行われているか	○			相談支援事業所と連携し対応しています。今後もご要望に応じて情報提供を行います。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			お子さまやご家族とご相談しながら連携が有益なものとなるように努めています。また専門機関が開催する研修等には積極的に参加しています。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			今年度はコロナ禍でしたので交流は行いませんでした。通常は運動会や音楽会、夏休みの企画等でご家族の皆さまにも参加いただいたり、また近隣の公園へ出かけ地域の方との交流する機会もあります。今後は状況を見極めながら、近隣の保育園の園庭開放への参加も検討しています。また、地域活動への参加はこれまでは実施しておりませんが、社会参加の一環として様々な催しなどへの参加を検討していきます。
	8 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、積極的には行っておりません。今後は状況を見極めながら、他の事業所などのお話を参考に、地域に開かれた事業運営のあり方を検討していきます。
保護者への説明責任等	1 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			ご契約時に重要事項説明書及び利用契約書の読み合わせをしながら料金表とともに説明をしています。運営規定は常時閲覧できる場所に配置しています。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を行っているか	○			児童発達支援計画及び放課後等デイサービス計画を作成後、面談にてご家族と共有しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
保護者への説明責任等	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			実際の活動場面や面談などを通してお子さまとの関わりや声かけなどについて、一緒に考える機会を設けています。ご家族のご希望に応じて、コース(8～9回)での受講も可能です。プログラムに参加をご希望される方はお申し出ください。
	4	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			お子さまの日頃の姿を発達状況や生活環境に照らして考え、課題について共有したいと考えています。日々の活動のなかで送迎時・電話・面談などを通してお話する機会を設けています。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			日頃の活動のなかで常時相談に応じています。時間を要する場合には面談を行います。支援計画の見直しや、お子さまや集団生活の状況が変化したときなど、あるいはご家族からご相談がありましたら迅速に対応することを心がけています。
	6	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			日々の活動や、運動会などの親子参加の催しで交流する機会があります。昨年度は児童発達支援保護者交流会を実施しました。今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、実施を見送りました。今後は状況を見極めながら、皆さまからのご要望に応じて、交流や情報交換の場を設けていきます。
	7	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			いただくご意見、ご要望は大切に受け止めて対応し、体制を考えます。お子さまやご家族から苦情を受けた際は、重要事項説明書に記載された方法で迅速に対応させていただきます。①事業所内苦情解決管理責任者 ②行政機関苦情受付機関へ遠慮なくお申し出ください。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			内容によりお手紙配布や口頭、お電話等、ご家庭の状況に応じた方法で、確実にやりとりするよう心掛けています。
	9	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			皆様への必要な連絡事項や情報提供はその都度、掲示物や配布物、口頭でご連絡させていただきま。年に一度、ガイドラインに基づいたアンケート(保護者評価・事業者自己評価)を実施し、結果のご報告をいたしております。今後はLINEやホームページのお知らせ欄などの活用を検討していきます。
	10	個人情報に十分注意しているか	○			日ごろの事業所運営上、ご利用者個人情報の取り扱いには気をつけております。関係機関との連携などが利用者様の利益となる場合は、保護者様の同意を得た範囲で行います。不都合やご心配などは遠慮なくお申し出ください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
非常時等の 対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			今年度は緊急時対応マニュアルを見直し、緊急時の一斉メール配信ができるように整備しました。感染症対応マニュアルは、新型コロナウイルスの感染予防も含めたものに変更しました。ご利用者様には、契約時やお手紙などでご説明しております。また各マニュアルはお知らせコーナーに常備しておりますので、ご自由にご覧ください。また、ご不明な点がございましたらいつでもお声かけください。
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			児童発達支援では年に1、2度、避難訓練を兼ねてお散歩の日などに避難場所となる鎌取コミュニティセンター方面のルート歩き、避難場所を伝えています。また災害時の対応についてお手紙を配布します。放課後等デイサービスでは子ども達に避難ルートを伝えて避難時にどうするかを皆で話し合いました。今年度から災害緊急時の一斉メール配信が行えるように整備し、テストメールの配信を行いました。今後は毎年9月に行う避難訓練時にテストメールの配信を行う予定です。
	3	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎年2名の職員が研修を受け、研修に参加していない職員に対し、伝達研修を行っています。今年度は厚生労働省から配信されている『障害者虐待防止法の理解と対応の職場内研修用冊子』を用いて職場内の研修も行いました。
	4	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			個別支援で対応させていただく場合や、クールダウンなどのために一時的距離を置くことが必要なお子さまについては、お子さまとご家族へ十分に説明し、了解を得た上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に記載します。
	5	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーの有無や詳細な確認を契約時に行っています。また、その後の経過についても把握に努めています。
	6	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			報告書を作成し共有しています。対応策が徹底して実施されていない時は、その都度、職員間で再確認します。